



# UPMの 持続可能な開発目標 SDGsへの取り組み

UPM **BIOFORE** - BEYOND FOSSILS

## SDGsとは？

国連加盟国は、2030年までに達成すべき“世界共通の目標”として、経済的、社会的、環境的課題を盛り込んだ17項目の目標と、それらの目標を達成するための具体的な196個のターゲットを掲げた、持続可能な開発目標（SDGs）に合意しました。

UPMは、持続可能な開発目標（SDGs）に沿って、運用、製品、ソリューションを通じて最大のプラスの影響をひきだせるよう、またマイナスの要因を最小限に抑えるそれぞれの目標を策定しました。



## なぜSDGsが重要なのか？

- 世界中の国、政府、企業、組織、個人は、気候変動、環境悪化、不平等、人権侵害、貧困など、世界規模で課題に取り組む必要があります。
- SDGsの達成には企業が重要な役割を果たしており、2030年までに目標を達成したいのであれば、私たちは今すぐ行動に移さなくてはなりません。
- すべての企業が、それぞれの運用、製品、ソリューションが与える影響とSDGsの間のリンクを特定することが重要です。さらに重要なことは、彼らは直接的または間接的に目標に積極的に貢献する大がかりな目標を設定する必要があります。
- 国連グローバルコンパクトLEADの参加者として、UPMはリーダーシップを発揮し、社会の良き一員として模範を示したいと考えています。

## どのようにしてSDGsを達成するのか？

私たちの社会的責任とSDG2030アジェンダには、4つの主要なステップが含まれています。

1. 2015年に私たちは2030年に向けた大がかりな責任目標を掲げ取り組みを始めました。
2. 2017年に私たちはSDGsアクションプラットフォームに関わるグローバルコンパクト LEADに参加し、グローバルSDG報告を作成しました。
3. 2015年とさらに2019年に、17項目のSDGs目標と、より具体的な169の目標を詳細に分析し、最も貢献できる6つの目標に優先順位を付けました。
4. 目標の進捗状況を継続的にチェックし、目標が予定より早く達成されたとき、または変化する世界のニーズを満たすために新しい目標またはより意欲的な目標が必要になった場合は、基準を引き上げます。



We support UN's Sustainable  
Development Goals



# UPMのSDGs 取り組み事例

UPM **BIOFORE-BEYOND** FOSSILS



# 最も関連性のあるSDGsを特定するためのレビューはどのように行われるのか



UPMは、SDG目標に関連して、人や地球に大きなプラスまたはマイナスの影響を及ぼしますか？  
それは、増加（プラス）または減少（マイナス）することができますか？



UPMに関連しない  
SDGターゲット

いいえ はい

ターゲットによって対処された問題が未解決のままであるか、  
UPMが非アクティブであると見なされた場合、リスクが発生する  
可能性はありますか？

いいえ はい

同時に目標達成に貢献する当社製品のビジネスチャンスは  
ありますか？

いいえ/はい いいえ はい

重要なトピック、UPMの2030年の目標、UPMのビジネスモデルなど、UPMの  
現在の業務に戦略的に関連する可能性はありますか？

いいえ/はい

いいえ はい



UPMにさほど関連  
するSDGターゲット  
ではありません

UPMとの関連性の  
高いSDGターゲット



# 2019年のグループレビューの結果



2015年のレビューで最も関連性があると定義されたSDGs

2019年のレビューで最も関連性があると定義されたSDGs



6 安全な水とトイレ  
を世界中に



## ゴール 6: 安全な水とトイレを世界中に



- **推進理由:** UPMはかなりの量の水を摂取しており、水質と廃水量に影響を与えます。循環経済計画と廃水処理イニシアチブは、マイナスになる要因を最小限に抑えています。
- **選ばれた目標は...**
  - **6.3:** 2030年までに、汚染を減らし、有害な化学物質や物質の投棄をなくし、放出を最小限に抑え、排水未処理の割合を半分にし、世界で再生利用と安全な再利用を大幅に増やすことで、水質を改善する



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



## ゴール 7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに



- **推進理由:** UPMのエネルギー効率向上イニシアチブとさらなる効率目標の改善は、CO2を含まないエネルギーを生産・利用することでゴール7に積極的に貢献しています。当社および請負業者の両方の業務において、化石燃料の使用を最小限に抑えることで、パフォーマンスを向上させることができます。
- **選ばれた目標は...**
  - 7.2: 2030年までに、世界のエネルギー・ミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
  - 7.3: 2030年までに、世界でエネルギー効率の改善率を2倍にする



## ゴール 8: 働きがいも経済成長も



- 推進理由: Biofore戦略は、ゴール8に直接大きく関わっています。その他、製品スチュワードシップ、技術革新の促進、従業員と請負業者の適切で安全な労働条件の確保などが、貢献しています。
- 選ばれた目標は...
  - 8.2: 多様化、技術革新の向上を通じて、より高いレベルの経済的生産性を達成します。このターゲットでは、高付加価値セクターや労働集約的セクターへ重点を置きます
  - 8.5: 2030年までに、若者や障害者を含むすべての女性および男性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する
  - 8.8: 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する



## ゴール 12: つくる責任つかう責任



- **推進理由:** UPMは、資源効率、固形廃棄物ゼロイニシアチブ、循環経済ソリューション、廃棄物の発生を最小限に抑え、化学物質と廃棄物を持続可能な方法で管理することにより、目標に積極的に貢献できます。具体的な例としては、RafCycle、Shotton MRF、UPMProFiデッキなどがあります。
- **選ばれた目標は...**
  - **12.2:** 2030年までに、天然資源の持続可能な管理と効率的な使用を達成する
  - **12.4:** 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する
  - **12.5:** 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する

13 気候変動に  
具体的な対策を



## ゴール 13: 気候変動に具体的な対策を



- **推進理由:** 私たちのCO2排出量は、当然、目標に重大な悪影響を及ぼします。しかし、森林管理や炭素吸収源として機能する森林を維持することによっても、大きなプラスの影響があります。さらに、当社の持続可能な製品は、化石燃料の代替手段を提供します。
- **選ばれた目標は...**
  - **13.1:** *すべての国々において、気候変動に起因する危険や自然災害に対するレジリエンスおよび適応力を強化する。*

**Note:** GRI&UNグローバルコンパクトによる報告ガイドライン（SDGsの企業報告への統合：実践ガイド）によると、目標13.1には、GHG排出量データの開示と科学に基づくGHG削減目標の設定が含まれています。

15 陸の豊かさも  
守ろう



## ゴール15: 陸の豊かさも守ろう



- **推進理由:** 植物種、動物種、および内陸水域を維持・保存するための持続可能な森林管理および生物多様性スキームは、目標に向けて大きなプラスの影響をもたらします。
- **選ばれた目標は...**
  - **15.2:** 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。
  - **15.5:** 自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。

3 すべての人に  
健康と福祉を



## Removed SDG

### ゴール 3: すべての人に健康と福祉を



**達成目標:** 「すべての人に健康と福祉を」は人々の健康の確保と福祉の促進が目的です。あらゆる年齢のすべての人が元気に暮らせる世の中を目指します。

**削除の理由:** ゴール8およびゴール12と重複するために削除されました。安全で安全な職場、人権および働きがいのある仕事はターゲット8.5および8.8でカバーされ、化学物質の放出および廃棄物による人の健康への悪影響はターゲット12.4で最小限に抑えられます。

ゴール3の目標は、政府や製薬会社により関連性があり、エイズ、結核、熱帯病などの世界的な健康危機管理、または新生児や子供の予防可能な死亡の撲滅に焦点を当てています。

**Note:** 雇用主によって組織された福祉プログラム（Raflatacなど）は、ターゲット3.4または3.5をうたっていますが、ゴール3はUPM全体レベルでの関連性が高いとは言えません。

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



## Removed SDG

### ゴール 9: 産業と技術革新の基盤をつくらう



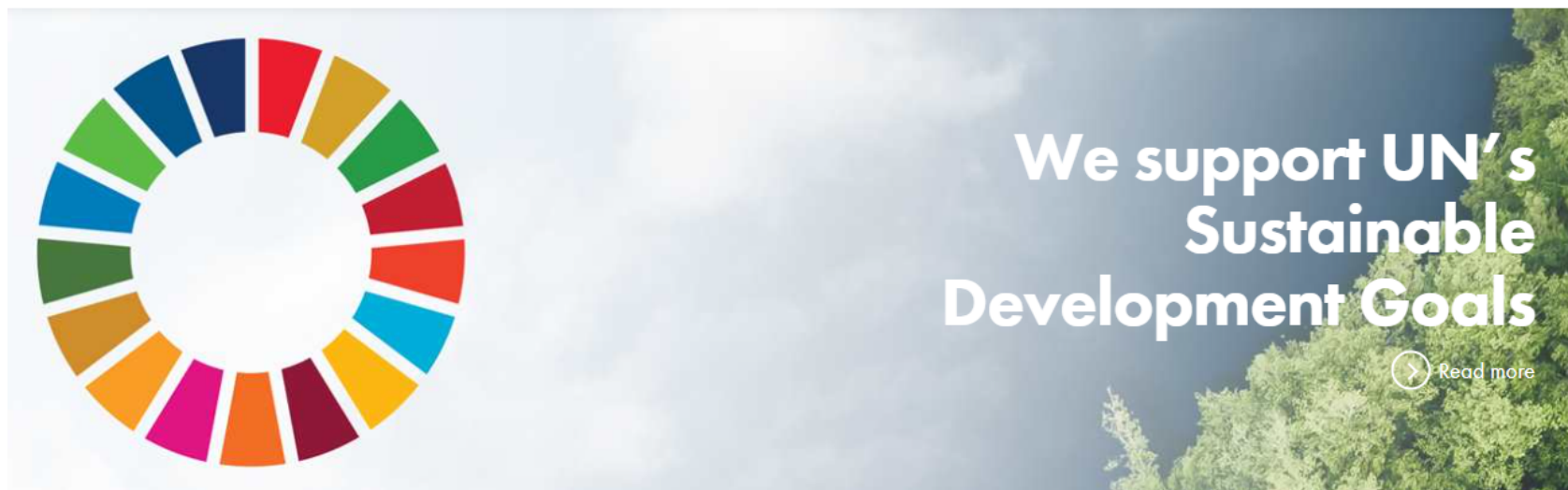
- 達成目標: 災害に強いインフラを整備し、包括的で持続可能な開発を促進し、産業化を図る
- 削除の理由: ゴール8およびゴール8.2と重複しており、これらは当社の事業により関連性があると見なされました。ゴール9は、当社の事業が最大の影響を及ぼさない後発開発途上国に焦点を当てています。したがって、この目標はゴール8を支持して削除されました。

# SDGに関する情報

UPM.COM

Responsibility > Fundamentals > Our responsibility targets > Sustainable Development Goals

UPM **BIOFORE**  
**BEYOND FOSSILS**



- さらなるSDGsに関する情報は、UPMのサイトをご覧ください:  
<https://www.upm.com/responsibility/fundamentals/Our-responsibility-targets/sustainable-development-goals/>
- Anna Palomäki, Reporting and Standards, UPM Responsibility



UPM **BIOFORE**  
**BEYOND** FOSSILS

